

ちや【茶】



花のように香り、黄金の水色を持つお茶 藤枝市

「藤枝かおり」という、アイドルのような名を持つお茶をご存じだろうか。やぶきた茶よりもアミノ酸やカテキンを多く含み、きれいな黄金の水色で、ジャスミンのような華やかな香りがする。山本祐司さんは稀少品種である「藤かおり」からできた新しい日本茶「藤枝かおり」の栽培から製茶までをおこなう山本農園の園主。「茶葉はていねいに揉みかけたりするなど、とにかく手間がかかるお茶ですが、開発者が長年研究を重ねてつくりあげたこの品種を守っていきたいですね」と話す。「静岡のお茶農家みんなが、おいしいお茶をつくるために一生懸命だということを伝えて」と謙虚に微笑む山本さんとの出会い。静岡のお茶のことをいっそう知りたく、もっと味わいたくなった。



N 丹誠込めた、ていねいなお茶づくり
山本農園

Note 〒426-0021 静岡県藤枝市高田622-2 ☎054-638-1703
<http://www.yamamoto-nonen.com/>
※山本農園では「藤かおり」としてHPで販売
新東名 藤枝岡部ICより約5分



藤枝かおり(藤かおり)は、淹れ方で大きく味や色が変わる。低温でじっくりと淹れるとコクが出て、高温なら花のような香りを楽しめる。水出しや、焼酎割りもおすすめです。



N 「水出し用 藤枝かおり(1袋 525円)」など地元のお茶がいろいろある並ぶ
新東名 藤枝PA(上り)「藤枝花吹屋」

Note 〒426-0213 静岡県藤枝市中/合629 ☎054-648-1455
営業時間/24時間営業 <http://www.c-nexco.co.jp/sapa/>

車 新東名 藤枝PA(上り) ※一般道から訪れる場合は、ぶらっとパークが便利

りよかん【旅館】



旅館の営業施設数、日本一 静岡県全域

温泉など豊富な観光資源に恵まれた静岡は、旅館の数も多い。2010(平成22)年度末の記録によると、静岡県の旅館営業施設数は3,229施設で日本一だそう。ちなみに2位は北海道、3位は長野県。観光交流客数は年間で、延べ1億3843万3千人となる(静岡県企画広報部情報統計局HPより)。有名なところでは、修善寺の創業250年という「あざば」や、最近、女性を中心に人気があるという伊東のハトヤなど。静岡の旅、ていねいなおもてなしが期待できる旅館でゆったり過ごしたい。

ぬりもの【塗り物】



脱いだときこそ粋、駿河塗下駄 静岡市

江戸初期に、駿府城築城や浅間神社造営のため全国各地から職人が集められたという静岡。挽き物、塗り物、竹細工など様々な伝統の技が今に伝わる。最近では、ひな人形の衣裳を使った「ひいな Book Cover」、「げたのみずとり」が手がけるお洒落なデザインの履物など地場産業メーカーが発信する品が人気だ。



一方で、昔ながらの匠の良さにはっと気がつく瞬間もある。静岡のまちで見つけた「駿河塗下駄」は脱いだときに美しい模様が現れる、贅沢な履物だ。美しい蒔絵の上をどきどきしながら足をいれると、上塗りが完成するまで20数回塗り重ねるという、漆塗りの履き心地の良さに驚く。旅の醍醐味の一つは、こうしたモノとの出会いや発見だ、と思う瞬間である。

N 静岡の伝統工芸品が揃う
駿府楽市

Note 〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町47 アスティ静岡内 ☎054-251-1147
<http://www.sunpurakuichi.co.jp/rakuichi/>

車 東名高速 静岡ICより約20分